

廃校になった中学校を有効活用！

室戸世界ジオパークセンターを発着拠点とした交流人口の拡大と地域経済の発展及び地域住民の活動促進
(高知県室戸市)

取組概要

児童数減少に伴い、平成23年3月に廃校となった中学校の校舎を改築し、室戸ユネスコ世界ジオパークの拠点施設として再利用。この施設を発着拠点として、室戸市の周遊を促し、交流人口の拡大と地域経済の発展及び地域住民の活動促進を図る。

人口 14,306人(H28. 7月末現在)

担当 観光ジオパーク推進課

取組の効果

室戸世界ジオパークセンターへの入館者数は想定約1.5倍、室戸市全体の観光入込客数、観光消費額は前年より増加。本市経済への波及効果が認められている。

創意・工夫した点

何度でも来たくなるようなさらなる魅力アップが不可欠であるため、年間を通じた企画展や体験プログラム、ツアーを実施。

他団体へのアドバイス

自分のまちを発展させるために、官民一体となり、地域の実情にあった、よりよい方法をみんなで検討していただきたい。



室戸世界ジオパークセンターの様子



イベント・体験プログラムの様子